

2023年3月24日

関係各位

第1回宮地岳町かかし空の道ドローン配送実証実験  
-長迫の道-報告書

株式会社ドローンムーブ

1. 目的

天草市の中でも54.5%と高齢化率が高い宮地岳町では、地元の担い手不足はもちろん、交通のアクセスの不便さも課題となっており、大きな社会問題となっていくことが予想されています。そこで2022年12月より解禁されたレベル4飛行を見据え、ドローンによる新たな物流網の開拓や災害対策の強化による地域の課題を解決するために、「空の道」づくりからスタートすることとし、その第1回が今回の実証実験となります。



今回の実証実験は、株式会社ドローンムーブ(本社 熊本県天草市 代表取締役：松崎 正和)、株式会社トルビズオン(本社:福岡県福岡市 代表取締役:増本 衛)、一般社団法人 地域再生・防災ドローン利活用推進協会(本社:京都府京都市、代表理事 上原 陽一)の3社が天草市の理解を得た上で共同で行うドローンの社会実装の取り組みになります。地元の自治会である宮地岳地区や地権者にそれぞれにドローン飛行に関するリスクの説明をしながらも、将来的なドローンを用いた物流の可能性を広げていくための飛行への理解を求め、協力を得た上で実施しました。



天草市へ協力依頼



住民説明会

## 2. 実証実験概要



飛行ルート



使用機体

- (1) 実施日時：3月19日（日）12時30分～13時
- (2) 搬送物資：天草大王（鶏肉冷凍品）、天草大王ラーメン
- (3) 実験内容：レベル2（目視内+自律飛行）での配送
- (4) 飛行距離：約1.3km
- (5) 使用機体：DJI製 Matrice300RTK（最大積載量2.7kg）
- (6) 実施体制 主催：株式会社ドローンムーブ

株式会社トルビズオン、一般社団法人 地域再生・防災ドローン利活用推進協会  
株式会社スカイ・ファイブ、カワミネプランテーション、有限会社落合建設

## 3. 実証実験の内容

本実証実験は、道の駅かかしの里を拠点としたドローン配送空路整備の第1回目として、長迫地区の個人宅を物資の輸送先として、道の駅かかしの里より物資を配送しました。さらに帰り便にて、寄付としてかかしの洋服と商品の代金の配送を実施しました。



道の駅かかしの里



竹間様宅へ配送



配送品

また、今回はトルビズオン社がサービス提供する「ソラシェア」により、飛行ルート下の土地所有者に対し、本実証実験だけではなく、今後のドローン飛行の合意を取得し実施しました。この合意形成には、地域住民の協力や無人航空機への理解など、地域連携が必要となり、今後のドローン物流社会には必要な飛行ルートデザインの基盤として本実証実験に組み込まれております。

飛行ルートは、地権者の承諾を得たルートで計画し、ドローンの飛行下に第三者が侵入しないよう目視人を配置したレベル2飛行にて安全に考慮した上で飛行を行いました。また今回ドローンサークルに所属する未来のドローンパイロットの小学生2名も参加し、地域住民の方々にもご協力いただき、実施いたしました。



若山議員、市役所職員の方々と記念撮影



かかしの洋服を運ぶ小学生

#### 4. 今後の展望

宮地岳町ドローン配送ルートを各地区（市古木地区、豆木場地区、中岳地区）へ広げていき、道の駅を拠点とした配送ルートを整備します。また宮地岳町の診療所 在宅とつながるクリニック天草と連携し、医薬品配送を実施する予定です。

また、天草市全域を網羅する「空の道」を構築予定とし、天草市の中心となる本渡地区を拠点としたドローン配送が実現できるよう、天草市や市民、各企業の協力を得ながら進めていくことを検討しております。有人地帯での目視外飛行(レベル4)の実施に向け、国家資格である一等無人航空機操縦士の資格を所持するパイロットの人材を育成、目視監視員を減らすことによるコスト削減やドローン配送の事業化に向けて更なる実証実験を進め、人員体制、定期便、天候課題、機体選定など具体的にサービス提供できるよう課題解決をしていきます。

#### 5. 担当者

株式会社ドローンムーブ

山崎真紀 TEL : 080-5037-4211

MAIL : [d.move.0401@gmail.com](mailto:d.move.0401@gmail.com)